

# 星城懇話会

第21号  
2013.12 発行

発行：星城懇話会事務局

- CONTENTS
- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 「新美南吉生誕百年事業」 | 2 会員交流会           |
| 3 国際おもてなし学会    | 4 星城高等学校インターハイ祝勝会 |
| 5 教育講演会 開催のご案内 |                   |

## 会員啓発事業 「新美南吉生誕百年事業」の鑑賞

今年度の会員啓発事業は、知多を代表する童話作家新美南吉の生誕百年事業が展開され、タイミングよくその事業に合わせた企画で行うことができました。

新美南吉生誕百年記念事業の中から、平成25年10月12日(土)に開催された合唱オペラ「ごんぎつね」の鑑賞にあわせ、新美南吉記念館の見学、学園と新美南吉の関わりとして、名古屋石田学園の赤岡功副学園長の「南吉と星城大学」と題した講演会を開催しました。

秋晴れの空の下、約40名の会員の方にお集まりいただき、今年リニューアルしたばかりの“新美南吉記念館”を訪問。記念館館長の山本英夫さんから、会場内をガイドしていただき、南吉文学では、「ごんぎつね」が代表作ですが、記念館には多くの童話や童謡、小説、俳句、短歌などの作品や個人資料も展示しており、南吉文学の世界を彼の半田での生活環境や、暮らしぶりとともに紹介していただきました。

「新美南吉生誕百年事業」 ～2面へ続く



新美南吉記念館 ゴンギツネの彫刻の前で



新美南吉記念館 館長から説明

「新美南吉生誕百年事業」 ～続き～

「南吉と星城大学」の講演では、「どん狐」「手袋を買いに」を異文化理解として捉え、人間と狐との言葉が通じない中での、人間の思いと狐の思いの違い、最後に鉄砲で撃たれてから、狐の思いを人間が知ったこと。また、「おじいさんのランプ」では、ランプの売り方を経営学として捉えたお話があり、童話の話と人の心のつながり、経営学との結びつきを楽しく聞かせていただきました。また、星城大学学内にある新美

南吉の童話「イツノ コトダカ」が刻まれた記念碑について、「一本の木から新しい街が生まれる」という話を基に、名古屋明德短期大学から星城大学へと継る発展を祈念して、「エンジュ」の樹の植樹とともに建てられたことも紹介されました。合唱オペラ「どんぎつね」の鑑賞は、「どんぎつね」のストーリーを、半田市民がいろいろな編成で語り伝えるオペラとして表現されたものです。最初に少年少女合唱団が新美南吉の詩を歌う、「どんぎつね」を語るに続き、混声合唱による合唱オペラに展開。参加者の皆様に新美南吉の世界を満喫していただきました。



## 会員交流会

今年も懇話会会員交流会を12月11日(水)に名古屋駅前のザ・グランクレールにて114名の会員の方とともに盛大に行われました。

初めに、谷口会長が挨拶され、商売柄と前置きし、今年の1冊として「なつかしい時間」という本の紹介をされ、その後石田名誉会長から「今の時代における教育のあり方を考え、学園のあり方を進めていきたい」と挨拶されました。石黒理事による乾杯で交流会がスタートし、会員相互交流の時間では、殆どの会員の方が席を行き来し、積極的に名刺交換するなど異業種交流が行われました。

コンサートタイムは、3人の音楽ユニット“Merissa (メリッサ)”が、「アメージンググレース」を演奏しながら登場し、オカリナの音色と、声量のあるソプラノの歌声で聴衆を魅了していました。

最後の企業PRタイムでも、多数の企業様の方々がPRや、商品の説明など話され、個人会員の方からも「自身の健康について」お話しされるなどユニークな時間となりました。会員の絆が深まり、楽しい交流会となりました。

## 国際おもてなし学会を支援

11月23日（土）に星城大学にて、国際おもてなし学会準備会主催、星城大学と星城懇話会後援の「おもてなし学」講座が開催されました。

初めに、赤岡副学園長が「英国コーヒーハウスの『男達』&アフタヌーンティーの女性達」と題し、「色々な国、色々な人々の多様なおもてなしは理解されにくい」と話され、人を尊敬、他者の文化の尊重が基本である事、また日本の武士のおもてなしから、英国のアフタヌーンティーの始まりと現在の英国でのお茶についてお話しされ、英国がアフタヌーンティーを楽しめるようになったいきさつをお聞きしました。続いて、前大府高等学校校長の神野博子様より、「日本のおもてなし：食文化から学ぶ日本人の心」のお話をいただきました。

東京オリンピック誘致プレゼンテーションで、「おもてなし」の言葉が使われ、今年の流行語大賞にも選ばれた「おもてなし」の心を引き継いでいこうと切り出され、「おもてなし」は、「訪れる人を慈しみ、見返りを求めない深い意味があるもの」で、“気遣いの心”“思いやりの心”が必要であり、『豊かな人間関係を築くための基本となる心である』と語られました。



会員交流会 「メリッサの演奏」

日本の江戸しぐさは「円滑なコミュニケーションを図るためのしぐさ」と改めて理解し、稲作農民は、自然を畏れ敬い、神に豊作を祈願する祭りや年中行事を大切にし、ハレ（非日常）とケ（日常）



「日本のおもてなし」神野博子様

は区別されてきたが、ハレの日常化が進み、食べることの感動や感謝の気持ちが希薄になっていること、質素な食生活の中でも、食事作法や感謝する心が育てられた事など、日本の素晴らしい食文化を改めて見直し、このおもてなしの心を、次の世代に伝えていく事が私たちの使命であると結ばれました。

講演会終了後、今回のテーマでもある“アフタヌーンティー”の場も設けられ、ティータイムを楽しみ、クッキーを味わいながら、参加者の方々は歓談に花が咲いていました。

## 星城高等学校インターハイ祝勝会 男子バレーボール部・女子ソフトボール部

9月24日（火）に星城高等学校体育館において、インターハイで全国優勝した男子バレーボール部と準優勝の女子ソフトボール部の栄誉をたたえ、盛大に祝勝会が執り行われました。

石田理事長、寺田校長をはじめ学校関係者、生徒の保護者、関係者等が多数参加され、さらに、豊明市長にもご出席いただき喜びに満ち溢れた会となりました。

懇話会からは上寫監事が出席し、両クラブ出場選手の健闘を称え、褒賞金の授与を行いました。

その後、男子バレーボール部、女子ソフトボール部について、それぞれの部長・監督、キャプテンから試合経過の報告があり、楽しい会となりました。



男子バレーボール部



女子ソフトボール部

### 高濱正伸氏 教育講演会開催のご案内 「生きる力をはぐくむ子育て」

日時：平成26年2月11日（祝） 13:30～

場所：キャスルプラザ（名古屋駅前）

TV「情熱大陸」「カンブリア宮殿」「ソロモン流」などで話題の、花まる学習会の代表高濱正伸氏の、教育講演会を開催します。

「時代がどう変わっても柔軟な思考力と強靱な体力で乗り切って欲しい。」「友達がたくさん集まってくる表面的で内心の魅力を備えた人の育成」など独自の教育論を展開され活躍されています。



### 星城懇話会では、会員を募集しています。

星城懇話会では、新規会員を募集しております。

会では、教育・文化・芸術分野において、地域社会の活性化に貢献することを目的に活動しています。

また、諸活動を通じ、会員相互の親睦と啓発を図り、併せて学園の活動も支援しております。

ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡お願いいたします。



星城懇話会事務局

担当：今平・三浦

〒460-0008 名古屋市中区栄 1-14-32

TEL (052)221-8921

FAX (052)204-0723